

平成28年度 町民と議会の意見交換会 質疑応答

番号	質問内容	回答内容	会場
1	災害公営住宅や団地は全部埋まるのか。	アンケートを取り意見を集約して建設しているが、アンケート当時とニーズが変わり、埋まっていないところが出ている。	まちなか交流センター
2	余っている部屋や団地に被災者以外の入居は可能か。	国の補助金で造成しており、現在は被災者限定という縛りがある。議会としても以前より要望は出しているが、今後数年は難しいようだ。	まちなか交流センター
3	公営住宅には被災者限定の縛りがあるようだが、その縛りを短くする努力を議会はしているか。	執行権はあくまでも役所のため、以前より議員として要望を送っている。	まちなか交流センター
4	以前は基礎自治体や広域自治体の議員が国交省へ陳情によく訪れていたが、そういった努力や動きは。口で要望するだけではなかなか動かない。	まだ復興事業が完遂しておらず、仮設住宅で暮らす方々が多数いる現状では時期尚早と思う。	まちなか交流センター
5	昨年度に街づくり委員会が開催されているが、そこでもやはり「人口を増やすこと」が大きな課題として議論されている。基盤整備が終わっても、住む人がいなくなるとは意味がない。復興事業が終わるまで何もしないのでは後手に回るのでは。	先ほども言ったように、執行部には何度も伝えているが、なかなか厳しい。	まちなか交流センター
6	行政同士のやり取りだとそうなるが、議会という立場でまとまって動けば違うはず。行政へ要望を上げればそれで良い訳ではない、それでは足りない。議会として直接担当省庁へ働きかけるべき。	議員個人としての活動ではなく、議会として県や国に伝える必要があるというのはその通りであると思う。	まちなか交流センター
7	仮設住宅は県のものか。また復興事業の職員は仮設住宅を使えないのか。	仮設住宅は県のもの。今は復興事業の従事者にも貸している。	まちなか交流センター
8	今年の2月頃に断られたが。	今は貸していると認識している。	まちなか交流センター
9	別の地域から出稼ぎにきている人たちがいるが、その人たちの住む場所がなく復興事業が遅れている。	復興事業従事者にも貸しているはずだが、仮設住宅の集約化が始まっているため、それ以降のことははっきりと答えられない。また現在は各事業者が独自に作業用の住宅を建設するなどして対応している。	まちなか交流センター
10	南小学校と北小学校を合併する予定は。	検討中ということで町からは聞いている。ただし住民の理解がないと進められない内容である。	まちなか交流センター

番号	質問内容	回答内容	会場
11	田の浜緑地公園事業が否決された。田の浜出身の委員長がいるのでお聞きしたいが、聞くところによると住民が説明会でOKを出したにも関わらず議会で否決された。これにより1年以上計画が遅れるが、これからどうするのか。	1年以上遅れることになるが、代案が出てこなければ事業を進められない。また入札不調等があれば更に遅れることも考えられる。住民の意思を議会がひっくり返したが、反対討論をした方の話を聞くと地域の実情にそぐわないということ。私は賛成した立場なのでそれ以上は言えない。	まちなか交流センター
12	反対した方には説明不足だから反対したという方もいるようだが、説明不足だったら聞けばいい。1年以上遅れるのは地域住民も納得できないだろう。	ご意見として承る。	まちなか交流センター
13	山田町に復興事業で応援にきて思うのは、町民のみなさんの防災意識は完全に海に向いており、一切山に向いていない。また岩泉の災害についてはどう思っているか。	岩泉のようになってはいけないと感じており、海だけでなく山も重視して活動していく必要性を感じている。	まちなか交流センター
14	山田の広い土地は土砂災害で出来ていることをまず認識する必要がある。また岩泉や宮古など近隣に、台風10号により被災した河川の事例を間近で見られる場所がある。そういう場所を行政職員と議員が一緒になって視察すべき。	河川は県管理のため、対策での連携が難しい部分もあるのが現状だ。また県が河川の全てを把握している訳ではなく、さらに現在は岩泉等に目が向いているので、行政職員や議員が情報発信をしっかり行っていかなければいけない。	まちなか交流センター
15	県は広域を管轄する行政であり、県職員が県内河川の隅々を把握できないのは仕方のない部分もある。そういった点からも、町職員や議員が現状を把握し、伝える努力は大切。岩泉や宮古を参考に山田の現状と危険箇所を把握し、県なり国に伝えるべき。	議会として県や国に伝える必要があるというのはその通りである。	まちなか交流センター
16	河川は県管理とのことだが、県は危険箇所を把握しているのか。	主なところは把握しているが、全ては把握していない。	まちなか交流センター
17	町内さまざまなところに危険な河川があるので、しっかりと把握し管理してほしい。	ご意見として承る。	まちなか交流センター
18	後藤医院向かい付近の河川は、流路に金網等が一切設置されておらず、子どもが落ちたりしたら非常に危険。対策を。	ご意見として承る。	まちなか交流センター
19	第7分団の前の屯所付近で大雨の際に水が溜まり、大変な状況だ。町に聞いても返事がこないが、どういうことか。	現在、町へも要望として伝えている。現状は工事がまだ完了しておらず、臨時的集水桝を設置するなどの対応をしているようだ。その後大雨が来ていないためどうなるか分からないが、改めて要望として伝える。	まちなか交流センター

番号	質問内容	回答内容	会場
20	第7分団前は、元々の河川が4か5方向から合流している土地な上に、一番低いため道路の水も流れてくる。しっかり対応すべき。	ご意見として承る。	まちなか交流センター
21	台風10号の際に7分団前に水が溜まったが、その際に長崎の安全なところ（いっぽいっぽ）にいた住民に対しても、中央コミセンに避難しろと連絡があった。安全なところにいるのにコミセンに避難するためには危険な場所を通らないといけない。避難場所の指定がおかしいのではないか。	避難場所がおかしいのはその通りであると思う。長崎だけでなく、関谷・関口も避難場所がコミセンなのはおかしい。	まちなか交流センター
22	東日本大震災の津波被害は、学べるところがたくさんあるにも関わらず、しっかりとした検証が不足している。次の被害を出さないためにも、しっかりと検証し、文面等で伝えていかなければならない。	防災計画は作られたが、国・県等から流れてきている指針等に基づく部分も多く、実際の各個人の動きとしては不十分な面も多々あるため、整備する必要があると思う。	まちなか交流センター
23	防災計画のような大まかなマニュアルではなく、実際の被害や経験に即した山田版を作成するのはどうか。	津波で大きな犠牲を出した町として必要性を感じる。	まちなか交流センター
24	山田版マニュアルを作るなら高齢化等も考慮すべき。また何より町民の意識改革を重要視してほしい。	ご意見として承る。	まちなか交流センター
25	震災前は、旧山田駅付近の住民は駅を実質の避難所としており、役場職員も認識していた。しかし津波のときは当然被災し、びはんに逃げたおかげで助かった。今は低地を避難所にはしていないと思うが、避難所について再度検証してほしい。	ご意見として承る。	まちなか交流センター
26	街灯の電球が切れたことを町に伝えても、2ヶ月も3ヶ月も時間が掛かる。何とかしてほしい。	安全上も問題がある。再度役場に要望として伝える。	まちなか交流センター
27	従前の織笠コミュニティセンターは普段は活用されていなかったが、風呂があった。震災の際には同施設は避難所となり、初めて風呂として使用した。	織笠コミュニティセンターは来年度、実施設計、30年度に建設予定となっている。土地の面積は150坪である。	織笠コミセン
28	震災等、有事の際には風呂は必要と思う。新たなコミセンはどうなのか。	風呂、シャワーを含めて、どの様な造りにして貰いたいのか地区民の意見を集約して欲しい。それを踏まえて町当局に伝える。	織笠コミセン
29	高台団地での集会所の建設計画はあるのか。	現在のところ、織笠コミセンの他には建設計画はないが、要望として町に出したらいいのではないかと。	織笠コミセン

番号	質問内容	回答内容	会場
30	公共施設や学校のトイレの洋式化を望む。	町内各地域での施設が改修時期となっている。それに併せて改善される予定である。	織笠コミセン
31	織笠森地区（低地部）の活用策はどうなっているのか。	約8ha程の面積であるが、準工業地域として活用する。以前は太陽光発電を設置するという話もあったが、売電価格が低下したことから頓挫した。今後は誘致企業等の活用を望んでいる。	織笠コミセン
32	近年、赤松林道の交通量が多くなっている。道路の拡幅を望む。	自分も2,3回拡幅について質問したが難しいと思う。近い将来、細浦・柳沢線が開通すればなおさらのこと。	織笠コミセン
33	妻の神線の途中(福士寛一氏付近)が幅員が狭くなっている。改善して欲しい。	町に伝える。	織笠コミセン
34	織笠ローソン付近の国道45号が低く、大雨が降る度、水が溜まり通行不可能となっている。改善して欲しい。	国の管理であるが、国道の改良と合わせ改善される予定である。	織笠コミセン
35	大雨が降ると織笠新田地区は、道路が冠水し通行不可能となる。特に福士牧場側からの道路は災害復旧で整備した水田が高くなり、田から溢れた水が道路をふさぐ。道路の嵩上げをお願いします。	同様に草木地区の道路も低く、大雨が降ると冠水する。このことは町に要望する。	織笠コミセン
36	高台団地に公共の掲示板が欲しい。掲示板については本来、自治会組織で設置すべきと考えている。	自治会組織において住民協働推進支援事業で設置する方法もある。	織笠コミセン
37	小学校の統廃合はどうなっているのか。	ある議員が統廃合を進めるべきとの質問をしたときがあったが、学校が無くなれば地域が寂れる。逆に小規模校ゆえ、スポ少活動が出来ない等、メリット、デメリットがある。現時点ではそのような動きはない。 ちなみに大浦保育園は来年の3月に廃止となるが、これは地区住民の合意によるものである。	織笠コミセン
38	給食センターの建設については、その金をもって復興に使えという強い意見もあるが。	昔は晩御飯のおかずを残し、弁当を作ったものだが、時代の流れとともに弁当を作らない家庭も出てきた。子供達の食育の観点からも学校給食は必要と思っている。	織笠コミセン
39	新斎場の敷地造成工事に関することが日報に掲載されていたが、どの様な経緯であのように報道されたのか。	新聞記事には、議員が気付かずに議案を通したとの報道であったが、契約金額を町で誤って記載したものであり、議員はそのことを知る術がない。本日の臨時議会においても副町長から間違いは全て町側にあると謝罪があった。	織笠コミセン

番号	質問内容	回答内容	会場
40	佐藤町長の公約に民間感覚とあるが、災害復旧の事務執行を怠り事業が打ち切りになるなど、一般的な民間感覚からすると仕事はずさんだ。	ご意見として承る。	大沢ふるさとセンター
41	町長は民間感覚としきりにおっしゃるが、町民に対しても役場職員は頑張っていると町長自らが言うなど、民間感覚に欠けていると言わざるを得ない。議会だよりp15の甲斐谷副町長の答弁も意味が分からない。	山田は震災前の予算は70億ほどだが、震災後は600億超など宮古市の規模に近い。この予算を宮古市の1/3程度の人数で処理しているため、職員が頑張っているのは事実。しかし、窓口に来た町民に対して誰が対応するかなど、問題があるのもまた事実。意見として当局に伝える。	大沢ふるさとセンター
42	事務処理を怠り事業が中止になったが、役場には顛末書を提出する等の仕組みはないのか。	しっかりと規定があり、またその規定に基づき懲罰委員会も開かれ、職員に処分が下される。	大沢ふるさとセンター
43	いま自分が働いている職場では、今日の問題点や課題を書く時間がある。役場職員もそういった時間を設けて、改善を続けていくべき。	ご意見として承る。	大沢ふるさとセンター
44	災害公営住宅は本当に埋まるのか。	埋まるか埋まらないかといえば埋まらないだろう。計画段階から5年以上経過しニーズが変化しており、計画時点でも被災者の住む場所がなくなることを最優先にしていた。	大沢ふるさとセンター
45	まちなか交流センターに時計を設置してほしい。	ご意見として承る。	大沢ふるさとセンター
46	下条地区に集会所をつくってほしい。	今号の議会だよりに記載のとおり、建設の方向で動いている。ただし方向であり、確定ではない。	大沢ふるさとセンター
47	長崎地区の第7分団付近の浸水について、昔はあの辺は水田であり、水田で受けて流していた。現在は受けが不十分。排水は大丈夫か。	町の回答としては今の設計で十分ということであるが、実際に浸水している。付近の排水については町に何度も要望をしている。	大沢ふるさとセンター
48	山田病院で、内科外科等は新患も受け付けるが、整形外科は他院からの紹介状がないと受け付けないという話があるようだが。	議会として答えられる内容ではないので調べてみる。	大沢ふるさとセンター
49	新斎場の入札金額が50万円違っていたという記事が岩手日報に記載されたが、町に損害はないのか。	改めて正しい金額で議決したので、町に損害はない。	大沢ふるさとセンター
50	震災時、大沢小学校やふるさとセンターに防災関連用品がなくて大変だった。せっかく高台にあるので整備して欲しい。	現在は整備されている。	大沢ふるさとセンター

番号	質問内容	回答内容	会場
51	ふるさとセンターが雨漏りするので直して欲しい。	過去に何度も修繕しお金も掛けているが、下からの吹込み等は無くならない。建物自体も古くなっているため、完全になくすには建て替えが必要。	大沢ふるさとセンター
52	消防署が移転するが、今まで使っていた施設はどうするのか。再利用は考えているか。	今後どうするかは決まっていない。	大沢ふるさとセンター
53	消防署と消防団の災害時の動きの違いは。消防団はサイレンを鳴らして避難を促しているが、消防署はやっていない。	議会として答えられる内容ではないので調べてみる。	大沢ふるさとセンター
54	豊間根の災害公営住宅に一般の人達も入居できる様に配慮して欲しい。子供ができると宮古等に転出するというケースもある。	全ての災害公営住宅が建設されていない。全ての災害公営住宅の建設の前に一般の方を入居させると計画されている他の災害公営住宅が建設されない恐れがある。このことから全てが建設されてからの検討事項。	豊間根生活改善センター
55	復興関連予算を除いた町の予算はどれ位か。その中で投資的経費はどれ位か。豊間根地区には投資的予算が少ないと感じられる。豊間根地区は食材を供給する地区だが担い手対策に困っている。担い手の確保、組織の育成に力をいれて欲しい。	震災前の町の予算は80億円から90億円位。 豊間根地区のハード事業は島田地区の排水対策、豊間根中学校から勝山地区にかけての排水対策、圃場整備の負担金等がある。 台風10号、温帯低気圧による災害復旧工事については、本日から災害査定が始まり来年以降の工事となる。	豊間根生活改善センター
56	働くところがなければ若い人達は定住しない。定住する対策を考えて貰いたい。	高速道路の開通に併せ、工業団地の整備、企業の誘致が必要と思われる。	豊間根生活改善センター
57	台風10号、温帯低気圧の時、川が増水した。山田町では大きな被害はなかったが、想定外の雨量が有った場合を勘案して堰堤の嵩上げを要望してほしい。	橋脚から堰堤が出来ており、断面的には満足しているが、倒木が橋に止まってそのことが災いしている。 100%満足がいくもの作ればいいのだが行政においては、確率の部分でしか物は造れないし、予算がつかないので理解して貰いたい。	豊間根生活改善センター
58	河川の流木の撤去をして欲しい。	橋脚から堰堤が出来ており、断面的には満足しているが、倒木が橋に止まってそのことが災いしている。	豊間根生活改善センター
59	45号新田橋の改良、拡幅を要望したい。	拡幅したくとも用地が決まっていない現時点で1人の反対者がいる。	豊間根生活改善センター
60	大雨の際、白山神社からの雨水が家に入る。真っすぐに抜けるような側溝を造って欲しい。また斎藤設備のところは側溝がないため冬に凍る。	現在、新たな県道を整備中であり、今の県道はやがては町に移管される。移管される前に対策を県に確約させたい。	豊間根生活改善センター

番号	質問内容	回答内容	会場
61	勝山地区には3つの沢があるが、台風10号、温帯低気圧の際にはかなり増水したこれらを踏まえて防災マップの見直しを欲しい。(下流の県道よりの地域も危険)	町に伝える。	豊間根生活改善センター
62	豊小の避難所に避難した際、一食分の食料を持参してほしいと言われたそうである。このような時には備蓄されている食料を活用してほしい。	備蓄食料を活用するよう町に伝える。	豊間根生活改善センター
63	豊間根小学校が避難所に指定されているが、勝山地区の人達は新田橋を通らなければならない。生活改善センターの基礎を高くして同施設を避難所にして欲しい。	生活改善センターも改修時期にきているが、豊間根支所が併設されており、いつ改修するか否かは定かでない。	豊間根生活改善センター
64	介護保険であるが、所得が低い人は使いづらい制度ではないか。所得が無い人も施設に入れるよう施策を講じて欲しい。	施設に入れるかどうかは所得に関係ない。あくまで介護度である。ただ待機者が多いため順番待ちではあるが。	豊間根生活改善センター
65	豊間根産直は簡易ハウスにより組合員のみで運営しているが、今後何等かの支援をして欲しい。	町に伝える。	豊間根生活改善センター
66	豊間根地区のあちこち道路が傷んでいる。補修計画はあるのか。	現在、復興工事で大型ダンプの往来が多い。補修してもすぐ痛む可能性がある。	豊間根生活改善センター
67	船石橋から300m上流の大川方面左岸が洗堀されている。パイプラインの取水口であるので大至急整備をして欲しい。	町に伝える。	豊間根生活改善センター
68	神楽ヶ沢から荒川川に抜ける排水路が石積で老朽化が著しい。整備をお願いしたい。	町に伝える。	豊間根生活改善センター
69	議会改革検討特別委員会とは。	議会活動を今より良いものにすべく、仕組みを変えるための検討をしている。例えば、議会からの情報発信を強化するべく、議会をインターネット中継するなどといったことが検討議題に上がっている。	船越防災センター
70	今年度は鮭等も不漁だが、町として何か対策は考えているのか。	不漁だからといって町から漁協等への援助をすることはない。アワビやナマコの種苗放流をしたり、養殖の種代を出すなどは行っている。	船越防災センター
71	国道45号の完了時期が31年3月となっているが、遅いと思う。URに丸投げをしているのではないのか。	そのような指摘もあるが、過去に例を見ない大規模な事業であるのでURに頼らざるを得ない。予算規模が600億円、宮古市と同規模である。遅れているのは事実だが難しい面もある。	大浦漁村センター

番号	質問内容	回答内容	会場
72	仮設の商店街が2回移設したが、実際のところ工事の遅れの一因となっているのではないか。	そのような指摘もあるが、過去に例を見ない大規模な事業であるのでURに頼らざるを得ない。予算規模が601億円、宮古市と同規模である。遅れているのは事実だが難しい面もある。	大浦漁村センター
73	新斎場の敷地造成工事に関することが日報に掲載されていたが、どの様な経緯であのように報道されたのか。	新聞記事には、議員が気付かずに議案を通したとの報道であったが、契約金額を町で誤って記載したものであり、議員はそのことを知る術がない。本日の臨時議会においても副町長から間違いは全て町側にあると謝罪があった。	大浦漁村センター
74	関口川で1か所、カーブしているところであるが増水すると非常に危険な個所がある。早急に整備されたい。川は広くはなっているものの浅くなっている。	調査の上、町に伝える。	大浦漁村センター
75	関口、関谷、北浜地区の災害における避難マニュアルを策定し、町民に示すべき。	なし	大浦漁村センター
76	災害公営住宅に入っているが、衛星放送受信アンテナが一般的なものを使っていない。使い勝手の悪いものを作っている。	なし	大浦漁村センター
77	仮設住宅のエアコンであるが、撤去が決まった仮設住宅の入居者のみ譲渡が可能とあるが以前に退去した人達との間で不公平間がある。	リース品もあるので各自治体との協議が必要である。	大浦漁村センター
78	大浦地区の復旧工事について、応援に来ている職員が前面に出て地元の職員が来ない。本来であれば町の職員が前面に出るべきと思うが。	なし	大浦漁村センター
79	岸壁の荷捌き場であるが、震災前から中間部分で高い所があった。復旧するに全体に高くなるが以前から高かった部分も同様に嵩上げして他のところより高くなるということであるが、全てフラットにして使い易くするべき。	なし	大浦漁村センター
80	仮設住宅の水道のメーター検針をやっているが明らかに人が住んで居なくて物置となっている 仮設住宅が散見されるどうなっているのか。また高齢者だけ残っているのが心配である。	なし	大浦漁村センター
81	大浦の新しい道路に街灯を数か所、設置して欲しい。	なし	大浦漁村センター
82	街灯を設置する場合、大浦はカーブが多いので照らす範囲を考慮して欲しい。	なし	大浦漁村センター

番号	質問内容	回答内容	会場
83	小谷鳥の堤防の乗り越し道路もそうであるが、地元の意見をあまり聞いていない。地元の意見を踏まえた上で県、国に掛け合って決めて欲しい。	なし	大浦漁村センター
84	広報やまだの表紙だが、お祭りは山田の中央だけでない。他の祭りも掲載して貰いたい。	町に伝える。	大浦漁村センター
85	大浦は13区あるが、区長はどなたも高齢で広報を配布するのも大変である郵送に出来ないか。	郵送は無理である。広報の配布方法は交替で行うなど地域で考えて貰いたい。郵送になれば地域の繋がりが希薄になる。	大浦漁村センター